

## 2019年度 第4回CSR委員会 議事録

日 時 2020年1月24日(金) 13:30~17:20  
 会 場 日本代協 会議室  
 出席者 20名

(敬称略)

ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名
上信越	小田島 綾子	南関東	安田 哲生	東中国	山田 眞理
北海道	池田 壮	東京	三浦 起世光	西中国	藤本 展久
北東北	寺田 昭夫	東海	福村 幸郎	四国	高嶋 英樹
南東北	沓澤 六雄	北陸	三上 茂	九州北	桜井 敏雄
上信越	近藤 亨	近畿	山口 裕貴	九州南	田中 栄治
東関東	伊藤 綱人	阪神	西川 秀俊		

<担当副会長> 横山 健一郎    <事務局> 専務理事:野元 敏昭、特命部長:小出 鋭(記)  
 :委員長、 :副委員長

<委員会での決定事項>

- ・ぼうさい探検隊の取組みを永續するためのアイデアを direct で共有
- ・CSR 活動の次年度取組み課題を共有し、具体策を今後検討

### 議 事

#### ・挨拶

##### 1. 小田島委員長挨拶

- ・本年もよろしくお願ひしたい。全員が元気な顔で出席いただき、大変嬉しく思う。
- ・本業多忙な中、各代協の活動状況をしっかり報告いただき感謝申し上げる。報告内容を確認した際に、委員会メンバーを中心に CSR 活動が支えられていることを改めて実感した。今後も活動の推進役として尽力いただきたい。
- ・ぼうさい探検隊に関しては、応募団体数が過去最高となり、皆さんの取組みに頭が下がる思いである。各自がゴールをイメージして、数字の進捗チェックや粘り強いフォローにより、37 代協が一冠を獲得する結果をもたらした。
- ・温かい心や熱い活動といった CSR の核心部分を次のメンバーに引き継ぎ、より充実した活動を各地で展開できるよう、本日の委員会で活発な意見交換をお願いしたい。
- ・CSR 活動は、消費者に取組み内容が理解しやすい代協活動であり、消費者のためにできることをしっかりやっていただきたい。
- ・地域の独自活動といった参考になる事例を幅広く収集し、委員会で共有して参りたい。
- ・本日も熱い論議をお願いしたい。

##### 2. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に伊藤副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

#### ・審議事項

##### 1. 前回委員会の振り返り

- ・前回の CSR 委員会の論議内容、決定事項等を議事録で確認した。

## 2. ぼうさい探検隊の総括と次年度の進め方

- ・高嶋副委員長より、今年度の好取組み事例を共有したいとの提案があり、意見交換を行った。
- ・三浦委員より、自身が本取組みを体験したことで、広く声掛けする際に説得力のある説明ができるようになったとの報告があった。また、親子単位で取組むことで、通学路に潜むリスクや避難経路を共有することができ、災害等の発生時に迅速に安全を確保する行動に繋がる効果があるとの提言があった。次年度は、家族に小学生がいる会員に取組みへの協力を求める予定である。
- ・山田委員より、過去の水災の経験を踏まえて応募実績のある会員が取組んだ事例に関し、理事会でその手法等を共有したとの報告があった。早期に会員の体験談を周知し、活動の輪を広げる予定と補足した。
- ・また、複数の委員から自身の思いや取組みの大切さをブロック内の委員・所属代協の支部等に伝え切れなかったことへの反省の弁が述べられた。
- ・続いて、次年度の進め方につき、意見交換を行った。
- ・取組みの本質をしっかりと伝え、コミュニティ単位での活動事例等をブロック内に発信し、根付かせることに注力するとの意見が出された。
- ・2月に次期体制での勉強会(出前講座の運営方法やぼうさい探検隊の取組みが主なテーマ)をスタートさせるとの報告があった。
- ・ブロック選出委員が旗振り役となって、ブロック内を盛り上げていくことを計画中との案が出された。
- ・ブロック内の委員長の地元の学校へ案内状を毎年新たに送付する活動を継続し、送付先が累積していくことで、委員長が交代しても取組みが停滞しない仕組みを構築しているとの報告があった。
- ・小田島委員長より、気付いたことを direct で共有するよう指示が出された。

## 3. 各ブロックから独自活動の直近分報告

- ・事前に提出されたチェックシートの集約結果を確認し、前回以降の活動内容を報告した。

(主な活動報告)

- ・(北海道)サイバーセキュリティセミナーを開催し、道内各地から 110 名の参加があった。
- ・(岩手)出前講座講師を複数養成し、5校で実施済み。
- ・(群馬)群馬県警察と「犯罪の起きにくい社会づくりに関する協定」を締結した。
- ・(千葉)広域災害時に被災した自治体の危機管理セミナーを実施した。
- ・(神奈川)ユニバーサルマナー検定を実施し、50名程度の参加があった。
- ・(東京)SDGsを絡めた活動実施の検討を開始した。
- ・(愛知)年間数百万人の参拝客が訪れる著名な神社・寺院の清掃を 300 名規模で継続実施している。
- ・(富山)四季防災館で季節毎の自然災害を体験学習した。
- ・(阪神)ブロック公開講座で防災落語を企画している。
- ・(岡山)毎年 12 月第 1 土曜日に AED 救急法講習会を実施している。
- ・(大分)出前講座を高校 1・2 年生 650 名対象に実施した。
- ・(熊本)消費者団体との損害保険に関する懇談会を開催し、11 名が参加した。

## 4. サイバーセキュリティ対策の進め方

- ・伊藤副委員長より、大手電機メーカーがサイバー攻撃を受けていたニュースの内容を説明した。万全な対策を講じていたはずの大企業であっても被害を受けており、認識の甘い代協会員が攻撃を受けた場合、情報漏えいは必至と説明した。
- ・小田島委員長より、今年度のセミナー実施状況を集約した結果、40 代協が実施済み(開催日が確定した先日付分を含む)であることを共有した。サイバー攻撃の脅威を理解し、対策に取組むことの重要性を伝

えることを要請した。

- ・事務局より、自社のセキュリティ対策として有効な「損保クラウド」につき、改めて紹介した。通常 1ID 月額 900 円の Office365 にセキュリティ機能が付加されて 1ID 月額 980 円と利用しやすい料金設定であると説明した。この 3 月末までは、初期費用無料キャンペーンを実施中であることを案内した。

## 5. 防災・減災の具体的な取組み

- ・藤本委員より、広島県代協で活用しているノベルティ「防災てぬぐい」の紹介があった。通常よりも長いサイズの手ぬぐいに防災お役立ち情報がプリントされており、オプションで代協名に加えて CSR 委員会の名称もプリントしている。
- ・横山副会長より、1/11 に埼玉県代協が損保協会・埼玉新聞社と共催した「ザ・防災フォーラム」に関する報告があった。減災取組みのポイントの 1 つとして、若年層への防災教育において、ぼうさい探検隊を実施した地域では子供たちの自助力が向上しているとのことだった。また、「防災」も大事であるが、これからは一人の犠牲者も出さぬよう何をすべきかを考える「減災」が重要であり、「公助」に頼ることなく「自助」「共助」で助け合うことが大切といったパネラーである専門家の発言内容を解説した。
- ・伊藤副委員長より、昨年発生した台風・豪雨等の被災者対応の経験談として、掛捨て型の火災共済では風水災等の自然災害は対象外(満期共済金がある商品では対象)との情報が共有された。
- ・事務局より、所在地の水災リスクに応じた保険料を設定(国交省のハザードマップ情報等で料率を算出)した住宅向け火災保険の発売を説明した。全てのお客様へ居住地域のハザードマップ情報(自治体作成分や保険会社提供分を活用)を提供することが重要と補足した。
- ・また、代協会員のリスクマネジメント力向上を目的に、自社の BCP 策定支援ツールを近日中に提供予定であることを紹介した。中小企業・小規模事業者を対象とした「事業継続力強化計画」認定制度において、代協会員がお客様の計画策定・申請をサポートできる支援メニューも提供予定であることを紹介した。

## 6. CSR 活動の次年度課題

- ・西川委員より、大阪代協で 3/5 開催予定の「ぼうさい探検隊」リーダー養成講座に関する報告があった。同じ志を持つ仲間を増やす取組みであり、全国展開に向けて CSR 委員会としての支援策を検討することとした。
- ・桜井委員より、出前講座用ツール(主に PPT 投影用資料)に関して、汎用版の作成を要望する提案があった。現状の各代協実施状況においても地域格差があり、取組みの先行している代協の使用ツール等を提供いただき、共通部分(地域データ等を表示する箇所は加工できる設定)の作成を検討することとした。
- ・小田島委員長より、活動チェックシートの意義の説明と積極活用の要請があった。各地の様々な活動の情報を収集し、委員会で共有することで新しい活動に取組む効果も期待できると説明した。記録を保存して引継ぐことの重要性を強調した。

## . 報告事項・情報共有事項

### 1. 報告事項

#### (1) 理事会・ブロック長懇談会報告

- ・事務局より、配布した三冠王関連資料、日本代協ニュース、理事会議事録・ブロック長懇談会次第の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。
- ・三冠王の直近状況を説明し、1 代協が三冠王確定と報告した。
- ・仲間づくり推進入会 Active キャンペーンの 2 つの表彰基準を説明した。
- ・2020 年 12 月までの日本代協公式行事の日程等を共有した。

## . その他・閉会

### 1. 情報提供

- ・事務局より、1 月 1 日にスタートした 47 代協 + 日本代協のリレー形式の動画企画の概要を説明し、日本代協 YouTube チャンネルへの登録を要請した。

- ・次に、国民年金基金のメリットを記載したチラシを配布し、自営業者への情報提供ツールとして活用するよう案内した。
- ・日本代協アカデミーの ID 登録数の現況を共有し、保険会社のコンプラ・商品研修の先にある顧客本位の業務運営の実践には、日本代協アカデミーの活用が必須であることを説明した。階層別の社員教育モデルプランのシートを提供するので、参考とするよう紹介した。
- ・関東財務局のモニタリングに関しては、当初約 60 店のヒアリングを 12 月未完了予定であったが、自然災害等の影響で 2 月末となる模様。3/10 の臨時総会時に財務局担当官による関連セミナーを予定していると案内した。
- ・自動車産業の今後の動向を示すキーワード「CASE(ケース)」(コネクト・自動運転・シェア&サービス・電気自動車)が、代理店や保険会社へ及ぼす影響度合を説明した。
- ・国内初の「ピア・ツー・ピア(P2P)保険」が発売されたことを紹介した。政府の規制緩和の枠組みであるサンドボックス認定による実証実験という位置付けで実現したもので、保険金の支払い実績を基に割り勘した保険料を後で払う仕組みで、リスクと負担の関係の透明性が高くなることが期待できると説明した。

## 2. 横山副会長挨拶

- ・日頃は各地で熱心に CSR 活動に取り組んでいただき、感謝申し上げます。
- ・昨年は台風 15 号、台風 19 号、10/25 の豪雨といった大規模な自然災害が多い年であった。この 3 つの災害に関して、損保協会公表のデータ(12/9 時点)では、事故受付件数 703,415 件・支払件数 646,242 件・支払保険金 7,464 億円という状況である。
- ・ここ数年、地球規模での環境変化等により自然災害の態様も変わってきている。代協会員が積極的に防災・減災の取り組みを消費者へ伝える役割が重要と考える。
- ・ぼうさい探検隊に関しては、代協経由で 178 団体・384 マップの応募・提出があり、団体数は過去最高を記録し、取り組みが組織内に浸透してきたと感じている。また、委員の皆さんの尽力に感謝申し上げます。
- ・サイバーセキュリティ対策は、多くの代協でセミナーを開催していただいた。今後は代協の活動として、お客様にサイバー攻撃の脅威とその対応策を伝えていただきたい。
- ・各代協における CSR 活動の全体像として、防災・減災の取り組みを基軸に活動内容を整理した上で、進捗を確認し、推進を図ることが重要である。
- ・各委員からの報告を聞いて、周囲を巻き込んだ活動やきめ細やかな対応をするなど真剣に取り組んでいることが確認でき、感謝申し上げます。
- ・次回が現メンバーで最後の委員会となるが、新体制発足後に活動が停滞することのないよう、しっかり引継ぐことをお願いしたい。

以上

次回開催日 2020 年 4 月 14 日(火) 13:00 ~ 17:00